

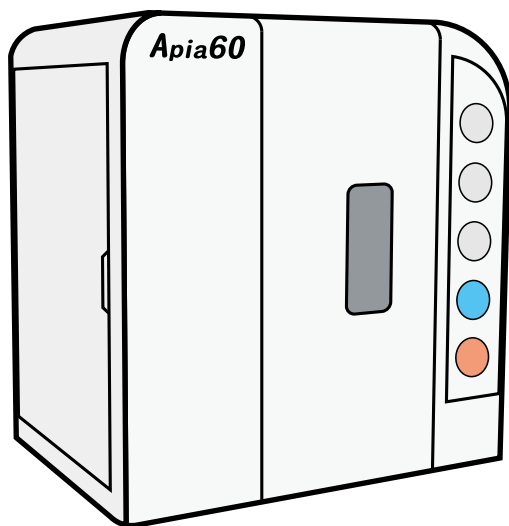
微酸性電解水生成装置

Apia60

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

「Apia60」は手軽に微酸性電解水を連続生成する装置です。本装置を正しくご使用いただくため、ご使用前に必ず本誌をお読みいただき安全にご使用ください。



安全上の注意事項
2～4ページ

ご使用になる前に
5ページ

各部の名称
6ページ

接続する
7ページ

微酸性電解水をつくる
8～9ページ

使い終わったら
10ページ

アラームランプの点灯
11ページ

装置をより使いこなすために
12ページ

トラブルシューティング
13ページ



製品仕様
14ページ


保証とアフターサービス
15ページ

保証書付





安全上の注意事項

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。本書では、安全上の注意事項のランクを「警告」「注意」として区別してあります。




	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。





なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■絵表示例


	一般的な禁止事項		分解禁止	この図記号は禁止（してはいけないこと）を示しています。 ○の中に具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な禁止事項）が描かれています。 一般的な禁止は、右の記号で表示します。
	一般的な強制事項		電源プラグを抜く	この図記号は強制（必ずしなければならないこと）を示しています。 ●の中に具体的な指示内容（左図の場合は一般的な強制事項）が描かれています。 一般的な強制は、右の記号で表示します。










※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

重要警告事項	 警告	
		カバーは絶対に外さないでください。 内部には電圧回路があり、誤って触れると感電により、死亡または重傷を負う危険性があります。
		装置から、異音、異臭、発煙、発火が発生したときは、装置をすぐに停止して電源プラグを抜いてください。 装置から、異臭、異音、発煙、発火が発生したときは、装置をすぐに停止して電源プラグを抜いてください。そしてお買い上げの販売店、または弊社にご連絡ください。万一、火災になった場合は消火器、または水などで消火してください。 Apia専用原液の取扱いには、十分注意してください。 取扱いの際には、ゴム手袋等を着用し、原液がかからないように注意してください。また、取扱い後は必ず手を洗ってください。 目に入ると、失明や視力低下をおこすおそれがあります。 ・目に入った場合は、目を擦らないで直ちに水道水で15分以上洗い流し、医師の診断を受けてください。 飲み込んだり、皮膚に付着したりすると炎症、傷害をおこすおそれがあります。 ・誤って飲んだ場合は、できるだけ多量の水を飲み、直ちに医師の診断を受けてください。 ・皮膚に付着した場合は、直ちに付着部あるいは接触部を多量の水で十分に洗い流してください。





接続上の注意事項	 注意	
		交流100V以外の電圧では使用しないでください。 火災、感電のおそれがあります。
		濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。
	電源プラグを抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。 電源コードを引っ張ると中の芯線が断線したり露出するなど火災、感電のおそれがあります。	






安全上の注意事項（つづき）

接続上の注意事項	 注意
	<p>電源プラグ・コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、絶対に使用しないでください。 火災、感電、ショートのおそれがあります。</p>
	<p>電源プラグ・コードを傷つけたり、加工したりしないでください。 火災、感電、ショートのおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・折り曲げたり、ねじったりしない。 ・熱い所へ近づけない。 ・強い力で引っ張らない。 ・釘やステップルで固定しない。 ・重い物に挟み込まない。 ・高い所から落下させない。
	<p>装置の二次側（微酸性電解水出口側）に流れを邪魔するバルブや絞りを付けしないでください。 装置の故障の原因になることがあります。</p>

使用上の注意事項	 注意
	<p> 装置を起動する前に負荷側の安全を確認し、この取扱説明書に従って運転操作を行ってください。 不用意な給電は、感電、事故のおそれがあります。</p>
	<p> 装置周辺での喫煙、火気の使用はしないでください。 爆発、破損により、けが、火災のおそれがあります。</p>
	<p> 原水は、飲料水基準を満たした水、飲用地下水等を使用してください。 装置の故障や正しい性状の微酸性電解水が生成できないことがあります。また、一部の金属イオンを含んだ水では異物や着色の原因になることがあります。</p>
	<p> 原水は、5～35℃の水を使用してください。 お湯等を使用すると、装置の故障や正しい性状の微酸性電解水が生成できないことがあります。</p>
	<p>原水の水圧は0.2MPa～0.4MPaで使用してください。 原水の供給異常により正しい性状の微酸性電解水が生成できないことがあります。</p>
	<p> 本装置が対応している原水の硬度は60mg/L～180mg/Lです。 本装置は、原水の硬度が軟水～硬水に対応しています。超軟水・超硬水の場合は、事前に弊社にご相談ください。</p>
	<p> 原液は、A pia専用原液以外使用しないでください。 装置の故障や正しい性状の微酸性電解水が生成できないことがあります。</p>
	<p> A pia専用原液の貯蔵、取扱いには十分注意してください。 塩素ガスが発生し、体調を損なうおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用途外に使用しないでください。 ・塩素系薬剤と混合しないでください。 ・原液を他の容器に小分けまたは、移し替えて使用しないでください。 ・子どもの手の届く所に置かないでください。 ・使用後の容器は他の用途に使用しないでください。また、空容器は挿入管を付けたまま廃棄してください。 ・直射日光を避け、換気の良い場所に保管してください。 <p>腐食、変質、変色、サビのおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤ってこぼした場合はすみやかに拭取り、水に濡らした布などで良く拭いてください。 ・原液を廃棄する場合は多量の水で薄めながら廃棄してください。
	<p>A pia専用原液のキャップの開閉、本体へのセット時には容器の側面を強く押さないでください。 強い力で押さえると原液が噴出するおそれがあります。</p>
<p> 濡れた手で操作しないでください。 感電のおそれがあります。また、装置の故障の原因になることがあります。</p>	

安全上の注意事項（つづき）

 注意	
使用上の注意事項	<p>微酸性電解水を生成・使用するときは、換気の良い所で行ってください。 微量の塩素ガス及び水素ガスが発生し、体調を損なうおそれがあります。</p>
	<p> ステンレス製のシンクで微酸性電解水を生成・使用・排水した後は、水道水をシンクに流してください。 サビ、変色の原因になることがあります。</p>
	<p>金属製容器（鉄・真鍮・アルミ・銅・ステンレスなど）に使用した後は、水道水ですすいでください。 サビ、変色の原因になることがあります。</p>
	<p>微酸性電解水は、飲用ではありません。除菌・殺菌以外に使用しないでください。 体調を損なうおそれがあります。</p>
	<p>生成した微酸性電解水を原水として使用し、再度生成しないでください。また、微酸性電解水を台所用漂白剤などと併用しないでください。 塩素ガスが発生し、体調を損なうおそれがあります。</p>
	<p> 子どもに使わせたり、手の届く所に置かないでください。 けがや体調を損なうおそれがあります。</p>
<p>微酸性電解水を指輪などのアクセサリーにつけないでください。 変色の原因になることがあります。誤ってついた場合は水道水で洗い流してください。</p>	
<p>装置を不安定な場所や高い所に置かないでください。 転倒・落下によりけがをするおそれがあります。</p>	
<p>装置の上に物を乗せたり、衝撃をあたえないでください。 装置の故障の原因になることがあります。</p>	
<p> 本装置は日本国内での使用を目的に製造されています。 本装置を国外で使用すると、電圧、使用環境などが異なり発煙、発火の原因になることがあります。国外で使用する場合は、事前に弊社に御相談ください。</p>	

 注意	
保守・点検上の注意事項	<p> 教育を受けたサービスマン以外は、カバーを外さないでください。 装置の修理、故障部品の交換は、お買い上げの販売店、または弊社営業担当に依頼してください。 カバーを開けると感電、やけどのおそれがあります。</p>
	<p> 本装置の電解槽部は消耗部品です。運転時間が4000時間を超えたとき、または使用開始から1年を経過したときは、電解槽部の交換が必要になる場合があります。</p>
	<p> 装置を水につけたり、水洗いしたり、操作パネルに水をかけたりしないでください。 火災、感電、ショートのおそれがあります。</p>
	<p> 装置が汚れたときは、電源を切った状態で、からぶきまたは、水を含ませ、よくしぼった布、ティッシュペーパーで拭き取ってください。 洗剤、シンナー、ベンジン、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきん、ナイロンたわし、漂白剤などを使用すると装置の故障の原因になることがあります。</p>

ご使用になる前に

微酸性電解水について。

正式名称：微酸性次亜塩素酸水

●HOCL濃度*：10~80mg/L

●原料：希塩酸

●pH：5~6.5

●食品添加物対応（'02.6.10 官報 第3378号）

※本装置で生成される微酸性電解水の水質

HOCL濃度：20mg/L前後（原水硬度70mg/L、pH7の場合）

特長
1

殺菌・除菌効果に速効性がある。

微酸性電解水には、次亜塩素酸(HOCL)が多く含まれているため、細菌・カビ菌・ウィルスなどにすばやく殺菌、除菌効果を示します。

特長
2

成分がほとんど残留しないため安心。

微酸性電解水は、除菌をすると有効成分は消失し、同時に塩などの残留物が残らないためベタつきを生じる心配がなく、どんな用途にも使うことができます。

特長
3

食品を直接殺菌。

微酸性電解水は、味や臭いがほとんどないので、生野菜や果物、肉、魚介類などの食品の品質をおとすことなく直接殺菌することができます。

特長
4

環境にやさしい。

有機物に触れると普通の水に戻るので、環境に影響をあたえません。また、発がん性物質とされるクロロホルムを生成しないのでとても安全です。

特長
5

使用目的を選ばない。

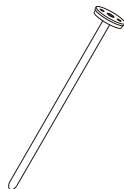
細菌が原因となるイヤな臭いには、消臭効果を発揮します。また、生成した微酸性電解水を空中に噴霧することにより室内を常にクリーンに保つことができます。

同梱品の確認

① Apia専用原液



② 原液用挿入管
Oリング付



③ テストペーパー



④ 継手



⑤ 入口用チューブ
片側ナット付



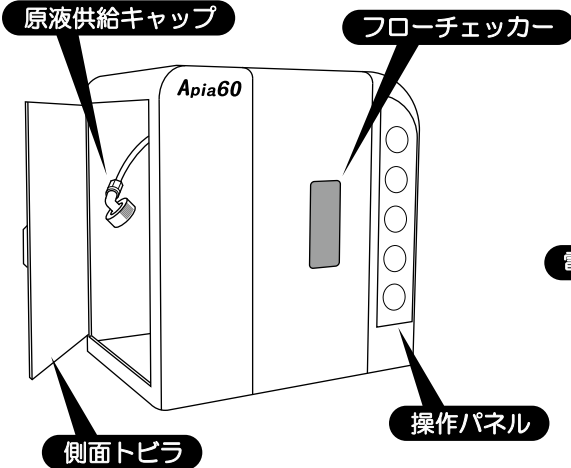
⑥ 出口用チューブ



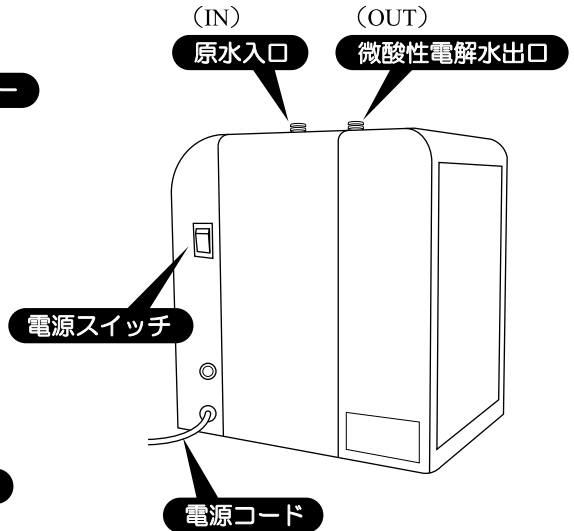
各部の名称

Apia60本体

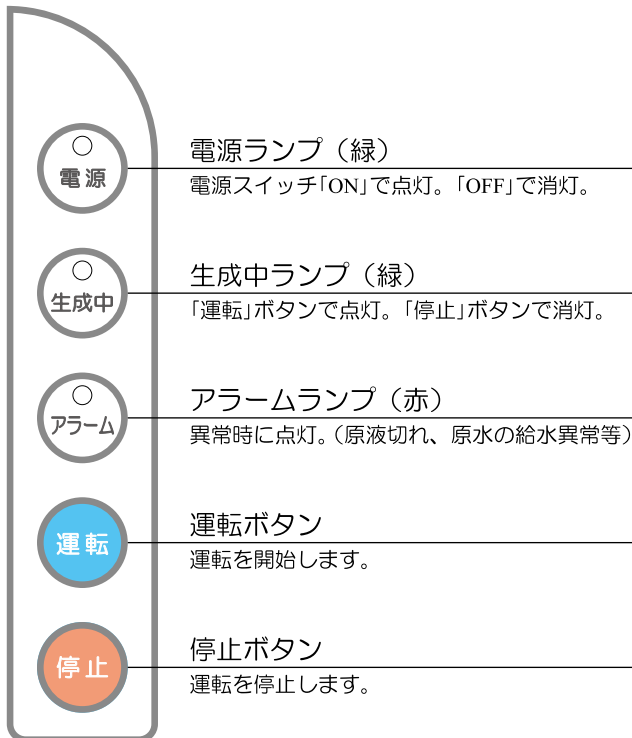
本体正面



本体背面

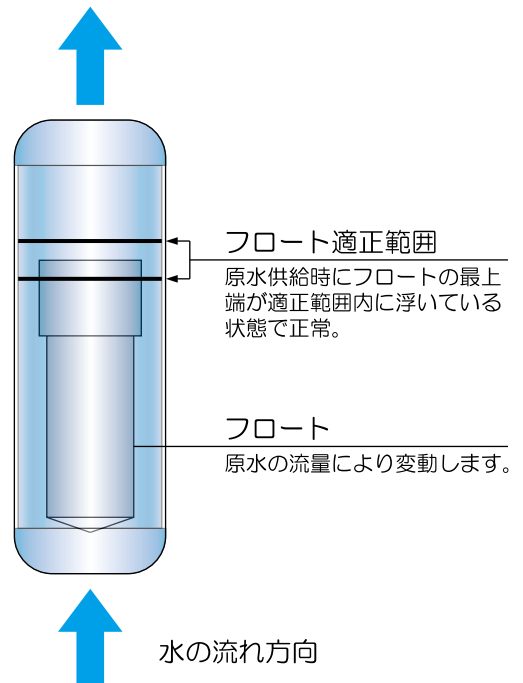


操作パネル詳細



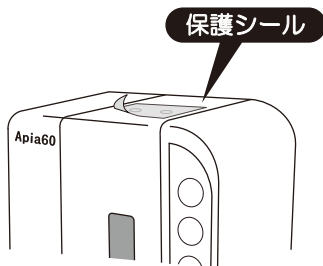
フローチェッカー詳細

原水の流れを確認することができます。

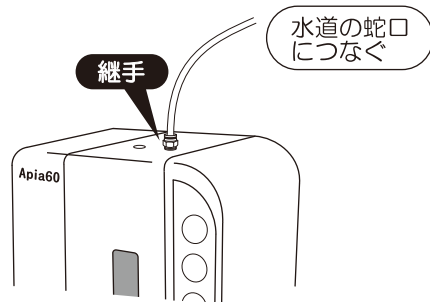


7 本体にチューブを取付ける。

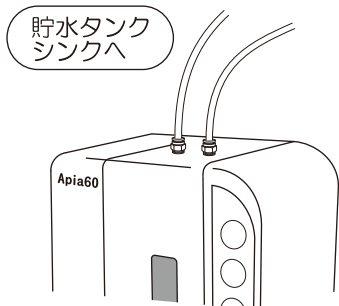
① 本体上部の保護シールを剥がす。



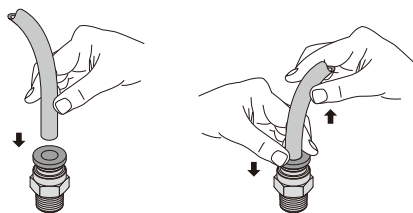
② 原水入口 (IN) 側に付属の継手を接続して、適合する耐圧チューブを取付ける。



③ 微酸性電解水出口 (OUT) 側に付属の継手を接続して、適合する耐圧チューブ取付ける。

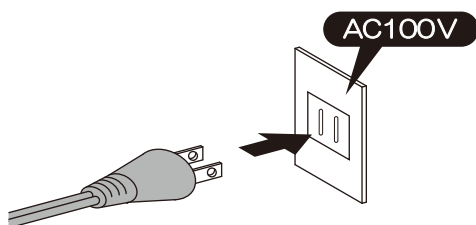


チューブの着脱方法



チューブを外す場合は、開放リングを押しながらかチューブを引き抜いてください。

2 電源プラグをコンセントに差し込む。



※次のような場所には設置しないでください。本品の故障や破損の原因となります。

- 直射日光の当たる場所
- 水や雨に濡れる場所
- 不特定多数の人が容易に手を触れる場所
- 40°C以上になる場所
- 不安定な場所
- 凍結のおそれのある場所
- 油煙の発生する場所
- 火気の近く
- 換気の悪い場所
- ほこりが多い場所
- 湿気が多い場所
- 振動のある場所

※ご使用になる地域や配管によっては、異物の混入等による水の汚れを除去するため、装置の一次側（原水入口側）にストレーナー（オプション）の設置が必要になる場合があります。

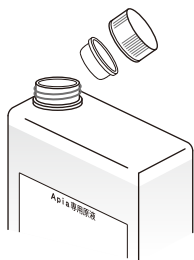
→ 12ページ（装置をより使いこなすために）参照

※装置の二次側（微酸性電解水出口側）に流れを邪魔するバルブや絞りを付けしないでください。

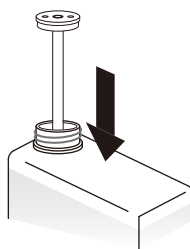
微酸性電解水をつくる

7 専用原液をセットする。

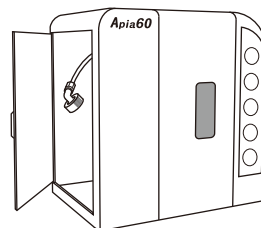
① 専用原液のキャップを開ける。



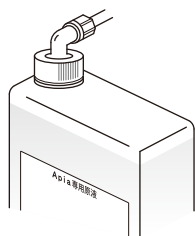
② 容器に原液用挿入管を奥まで差し込む。



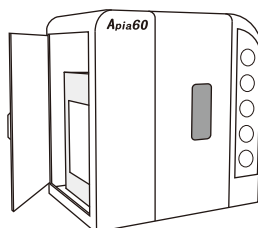
③ トビラを開け、原液供給キャップを取出す。



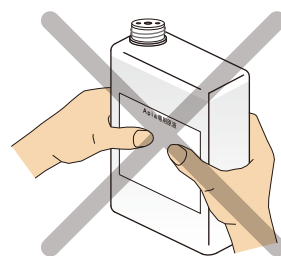
④ 原液供給キャップを水平に取付ける。



⑤ 専用原液をセットしたらトビラを閉める。

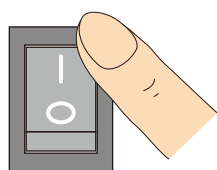


容器を持つときは、側面を強く押さないでください。



2 電源を入れる。

背面の電源スイッチを「ON」にする。



電源スイッチを入れると、
電源ランプが緑色に点灯します。

※原液供給キャップを取付けるときは、斜めにキャップを閉めないでください。また、原液供給キャップの締めすぎには注意してください。キャップ割れの原因になります。

※原液供給キャップが割れていたり、亀裂があると原液が正常に供給されない場合があります。

※Apia専用原液の取扱いには十分注意してください。

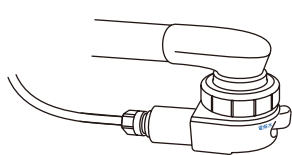
- 取扱いの際には、原液がかからないように注意してください。また、取扱い後は手を洗ってください。
- 用途外に使用しないでください。
- 使用済みの容器は、他の用途に使用しないでください。また、空容器は挿入管を付けたまま廃棄してください。
- 誤ってこぼした場合はすみやかに拭取り、水に濡らした布などで良く拭いてください。
- 容器を倒したり傾けたりしないでください。
- 本品の使用は十分な換気の下で取扱いください。

→2ページ（安全上の注意事項）参照

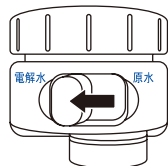
微酸性電解水をつくる (つづき)

3 水道水を供給する。

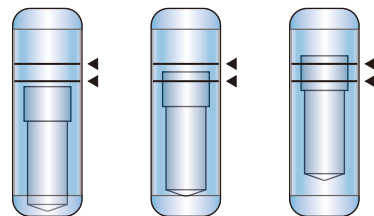
蛇口を開け、フローチェッカーを確認しながら水道水の流量を調整する。



(水道口セットを取り付けた場合)



フロートの最上端が2本のライン(◀)内に収まるように調整してください。



×流量不足 ○適量 ×流量オーバー

4 運転する。

操作パネルの「運転」ボタンを押す。



運転ボタンを押すと、生成中ランプが緑色に点灯します。

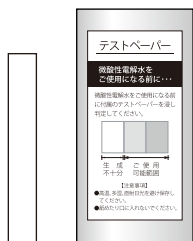
はじめてお使いになる場合…

初回運転時や専用原液交換後は、「運転」ボタンを押した数秒後にアラーム音が鳴りアラームランプが点灯します。警告音が鳴ったら「停止」ボタンを押し、再度「運転」ボタンを押して装置の再起動を繰り返し行ってください。

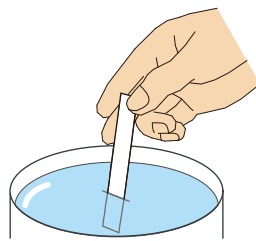
(配管洗浄後も同じ動作が必要になる場合があります)

5 水質を確認する。

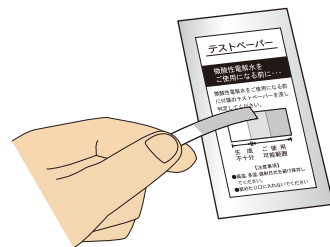
付属のテストペーパーから試験紙を1枚切り離す。



できあがった水に試験紙を浸ける。



テストペーパーの袋に記載されている色と比較する。



※本装置を暗い所で使用すると、フローチェッカーが見えにくくなる場合があります。フロートの状態が見える明るい場所でご使用ください。

※長時間運転は熱の影響で電解槽が変形する恐れがありますので、3~4時間毎に1時間程度休ませてお使いください。

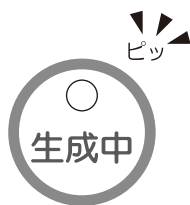
※運転中はトビラを開けないでください。

※テストペーパーは高温、多湿、直射日光を避け保存してください。

※微酸性電解水は、飲用ではありません。除菌・殺菌以外には使用しないでください。

7 停止する。

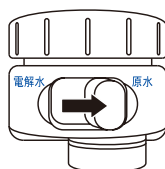
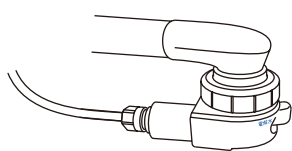
操作パネルの「停止」ボタンを押す。



停止ボタンを押すと、
生成中ランプが消灯します。

2 水道水の供給を止める。

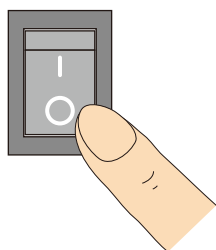
水道コックを「原水」に切り替え、蛇口を閉める。



(水道ロセットを取り付けた場合)

3 電源を切る。

背面の電源スイッチを「OFF」にする。



電源スイッチを切ると、
電源ランプが消灯します。

※ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
※長期間ご使用にならないときは、配管内部に残った原液を抜くための水洗いをおこなってください。専用原液の代わりに水道水を使用して5分以上運転してください。

アラームランプの点灯（専用原液を交換する）

7 停止する。

操作パネルの「停止」ボタンを押す。



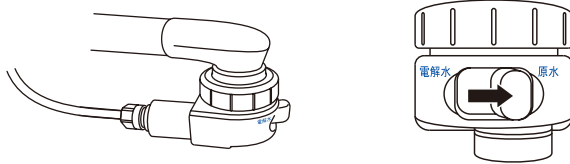
専用原液の残量不足や異常が発生するとアラーム音が鳴り、アラームランプが赤色に点灯します。（※）



停止ボタンを押すと、アラームランプが消灯します。

2 水道水の供給を止める。

水道コックを「原水」に切り替え、蛇口を閉める。



（水道口セットを取り付けた場合）

3 専用原液を交換する。

- 原液を交換して、再度「運転」ボタンを押してください。
【専用原液をセットする】→ **8** ページへ
- 原液が多量に残っている場合は、給水異常の可能性あります。
【水道水を供給する】→ **9** ページへ

（上記2つにあてはまらない場合は機器の故障が考えられます。）
直ちに電源を切り、お買い上げの販売店にご相談ください。

※アラームの点灯（アラーム音）には、以下の3点の場合があります。

原液切れ

給水異常

装置異常

アラームが点灯したら、「停止」ボタンを押して、それぞれ対応してください。
→13ページ（トラブルシューティング）参照

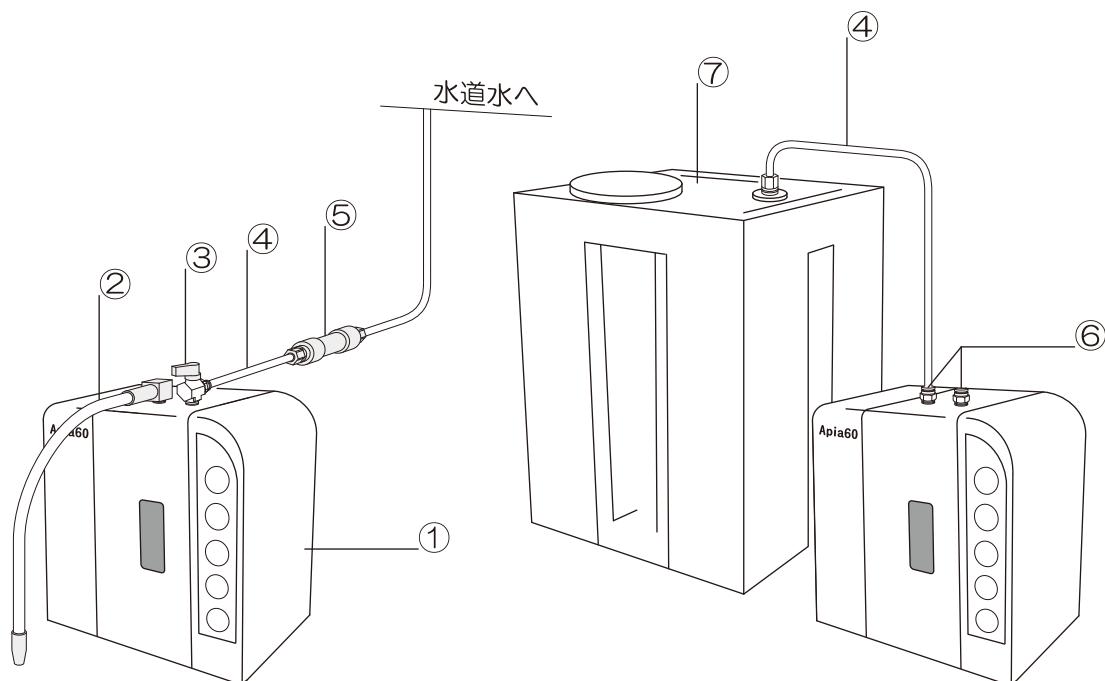
※アラームの点灯後に排出されている水は、微酸性電解水の効果がありません。

※アラームが点灯したら、再度「運転」ボタンを押すまで微酸性電解水は生成されません。

※Apia専用原液の取扱いには、十分注意してください。

装置をより使いこなすために

オプション品の接続例



①	Apia60本体	樹脂	AC100V
②	自在ホース (オプション)	SUS/樹脂	500mm
③	入口バルブ (オプション)	BS	φ6×R1/4
④	チューブ	PE	φ6
⑤	ストレーナー (オプション)	透明PVC	サラン
⑥	継手	PE	φ6×R1/4
⑦	貯水タンク (オプション)	PE	200~1000L

※オプション品や弊社標準品以外の特殊品をご希望される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

※ご使用になる地域や配管によっては、異物の混入等による水の汚れを除去するため、装置の一次側（原水入口側）にストレーナー（オプション）の設置が必要になる場合があります。

※ストレーナーを使用する場合は、定期的にストレーナーの逆洗を行いゴミを取り除いてください。

※装置の二次側（微酸性電解水出口側）に流れを邪魔するバルブや絞りを付けしないでください。

※原水の硬度が60~180mg/L以外の超軟水・超硬水で使用する場合は、変換ユニット（オプション）の設置が必要となります。

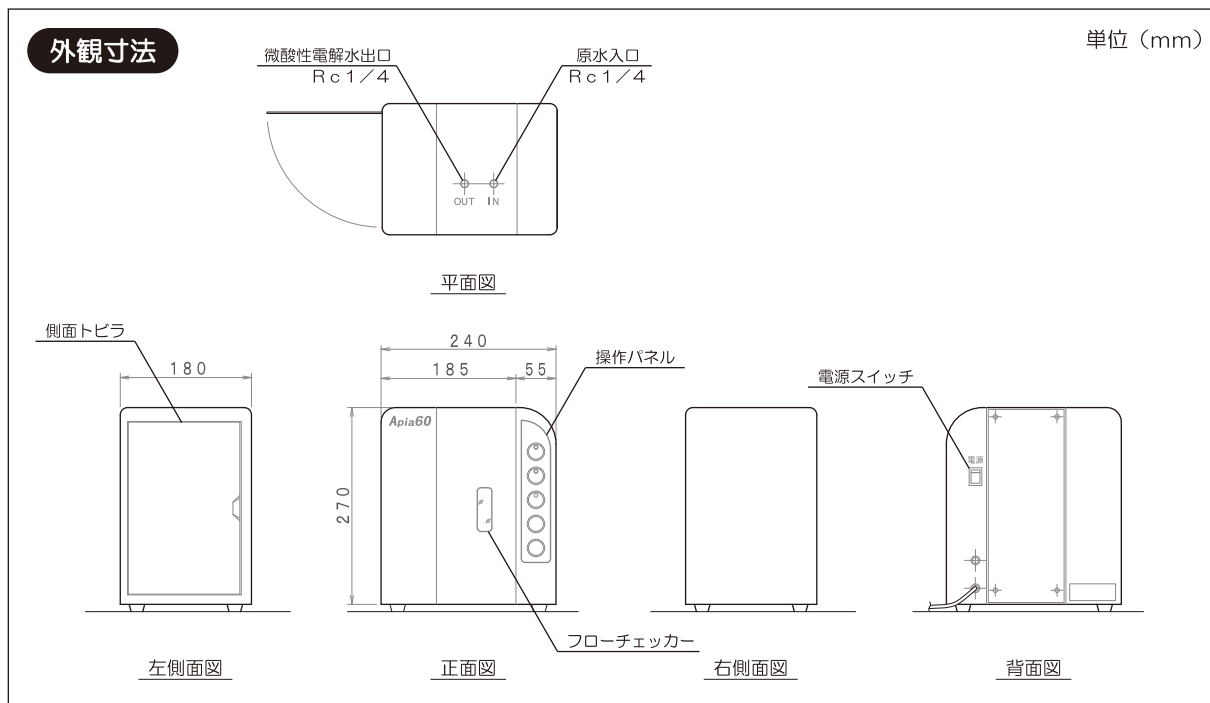
※本装置は、外部からの信号により制御を行うことが可能です。詳細はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

トラブルシューティング

こんなときは	考えられる原因	対処法
電源スイッチを入れても電源ランプが点灯しない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込み、再度「電源スイッチ」を入れてください。
運転ボタンを押しても運転しない。	外部からの信号が入っている。	外部信号を優先します。パネル操作は無効です。
	機器の故障。	お買い上げの販売店にご相談ください。
アラームが点灯している。 (アラーム音がなっている)	Apia専用原液の残量不足。	原液を交換して、再度「運転ボタン」を押してください。
	Oリングが原液用挿入管からはずれている。	原液用挿入管にOリングを取付けてから原液をセットしてください。
	原液供給キャップが斜めに取付けられている。	原液供給キャップを水平に取付けてください。
	原液供給キャップが割れている。または亀裂がある。	新しい原液供給キャップに交換してください。
	正しい原液がセットされていない。	専用原液をセットして、再度「運転ボタン」を押してください。
	原水の供給不足。(フロートSW off)	フロートの状態を確認しながら原水を適量に調整して、再度「運転ボタン」を押してください。
	機器の故障。	お買い上げの販売店にご相談ください。
停止ボタンを押しても停止しない。	外部からの信号が入っている。	外部信号を優先します。パネル操作は無効です。
	機器の故障。	お買い上げの販売店にご相談ください。
本体から水が漏れてきた。	機器の故障。接続部のゆるみ等。	運転を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。
運転中に電源が切れてしまった。	電源プラグを抜いた。	電源プラグをコンセントに差し込み、再度「運転ボタン」を押してください。
	電源スイッチを切ってしまった。	「電源スイッチ」を入れて、再度「運転ボタン」を押してください。
	停電になった。	
テストペーパーの色が紫色にならない。 (微酸性電解水の範囲内に入らない)	Apia専用原液の不足。	原液を交換してください。
	運転開始直後に測定した。	数秒置いてから測定してください。
	機器の故障。電解槽の寿命。	お買い上げの販売店にご相談ください。
運転音が気になる。	原液の供給音等。	異常な音がする場合は、電源を切り、お買い上げの販売店にご相談ください。
運転中に塩素臭がする。又は、強い塩素臭がする。	若干の塩素臭は微酸性電解水の水質によるもの。	特に問題はありません。換気を十分におこなってください。強い塩素臭がする場合は、直ちに電源を切り、お買い上げの販売店にご相談ください。

Apia60

- 型 式：AP-60
- 電源電圧：AC100V（50/60Hz）
- 消費電力：35W
- サイズ：W240×D180×H270（mm）
- 重 量：約3kg
- 標準能力：60L/h
- HOCL濃度：10～30ppm
- 使用圧力：0.2～0.4MPa
- 専用原液使用量：55ml/h
- 電源コードの長さ：約2m
- チューブの長さ：約2m（ポリエチレン）



Apia専用原液

- 主 成 分：3%希塩酸
- 容 量：1L

- 別 売 品
Apia専用原液（1L×3本セット）
挿入管、テストペーパー付

■製造元

株式会社 **ホクエツ**

〒242-0008

神奈川県大和市中央林間西三丁目9番21号

TEL 046 (276) 4690

FAX 046 (275) 2257

URL <https://www.hokuty.co.jp>

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証規定

1. 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に基づきお客様の正常なご使用状態のもとで、保証期間内に万一故障した場合、無料で故障箇所を当社所定の方法で修理もしくは同等品と交換させていただきますので、お買い上げ販売店、または直接弊社に保証書をご提示の上ご依頼ください。
修理を行うために交換された旧部品、または機械の一部にはお返しできないものがあります。
2. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責任を負わないものとします。
3. 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
 - ①本保証書のご提示がない場合。
 - ②本保証書に保証期間、型名または品名、および製造番号または保証番号、販売店名の記入のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - ③お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等、お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合。
 - ④お客様による使用上の誤り、あるいは不当な改造、修理による故障および損傷。
 - ⑤火災、塩害、ガス害、地震、落雷、凍結および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
 - ⑥本製品に接続している当社指定以外の機器、部品、および消耗品に起因する故障および損傷。
 - ⑦正常なご使用方法でも消耗部品が自然消耗、摩耗、劣化した場合。（本製品の電解槽部は消耗部品です。保証期間中でも、運転時間が4000時間を超えた場合での電解槽交換は有料となります。）
 - ⑧離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合、出張に要する実費を申し受けます。
4. ご不明の点は、お買い上げの販売店または弊社にご相談ください。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

保証書

製品名	
製造番号	
保証期間	※お買い上げ日 年 月 日から1年間
※お客様	ご住所 〒
	お名前 (ふりがな)
	市外局番 ()

この保証書は、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。お買い上げの日から左記期間中、故障が発生した場合、本書をご提示の上、お買い上げの販売店または弊社にご依頼ください。

※販売店	見本
------	----

印

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は、再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

アフターサービス

弊社では、本製品をご購入いただきましたお客様に、補償期間を終了した製品でも安心してご使用いただけますよう、また不慮の修理費用を軽減することを目的に保守契約をお奨めしています。設置状況、使用環境等で思わぬトラブルが発生してしまうこともあります。安心とコストの両面からこの機会に保守契約に加入されることをお奨め致します。ご契約、詳細につきましては、弊社営業担当にご相談ください。

 安全・ご使用上に関するご注意

●水道水の水质（pH・アルカリ風・硬度等）や使用環境（水温等）、水量等によって仕様範囲の微酸性電解水が生成されない場合があります。●電解部の寿命は水质、使用環境、使用頻度等によって大幅に短くなる場合があります。●ご使用前に必ず「取扱説明書」を熟読の上、正しくお使いください。●仕様及び外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

■製品に関するお問い合わせ、消耗品のお求めは…